

1 概況

残暑が厳しかった先週とは打って変わって、今週に入ってから朝晩がよく冷え込むようになりました。気温の低下とともに水温も低下してきています。ノリ網の張り込みは、各地区とも10月21日以降に本格化しています。栄養塩は伊勢湾側の南部と島しょ部で少ない状況ですが、その他の地区ではおおむね十分量あります。植物プランクトンも多くありません。水温は急激に下がってきており、平年値に近い値となっています。気象庁の1ヶ月予報によると、向こう1カ月の気温は平年並からやや高くなり、特に10月終わりから11月初めにかけては高くなる予報となっています。水温や潮位変動に注意し、ノリ芽の状態を観察しながら干出を与えるなど健全な種網確保を心がけてください。

2 気象・海況

<水温> 10月21日			<水温> 10月22日			<潮位偏差> 10月21日		
1~2号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	21.3 °C	漁生研 (-3.0m)	10時水温	22.1 °C	名古屋港	5日平均*	+3 cm
	平年差	+0.3 °C		平年差	+0.3 °C		偏差	+3 cm

※3号ブイメンテナンス中

※10月17日~21日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西部地区	北部~中部:多い、南部:少ない	なし	植物プランクトン散見
知多東部地区	多い~少ない	なし	植物プランクトン散見
西三河地区	多い~やや多い	なし	植物プランクトンは少ない
東三河地区	—	—	—

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い:121~、やや多い:81~120、やや少ない:41~80、少ない:~40

<気温動向の予測> (気象庁予報より)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、期間の中頃にかけては平年並か平年より低く、かなり低い所もありますが、期間の終わりは平年並か平年より高い見込みです。
-------	---

3 養殖状況

地区	張り込み		養殖状況
	開始	終了	
知多西部地区	10月18日	22日以降に張り込み開始する漁業者多い。	北中部で栄養塩増加傾向。
知多東部地区	10月19日	23日以降に張り込み開始する漁業者多い。	島しょ部で栄養塩増加傾向。
西三河地区	10月21日	22日までに全地区張り込み開始予定。	アオノリ陸上採苗中。天然アオノリ例年より少ない。
東三河地区	10月22日	—	—

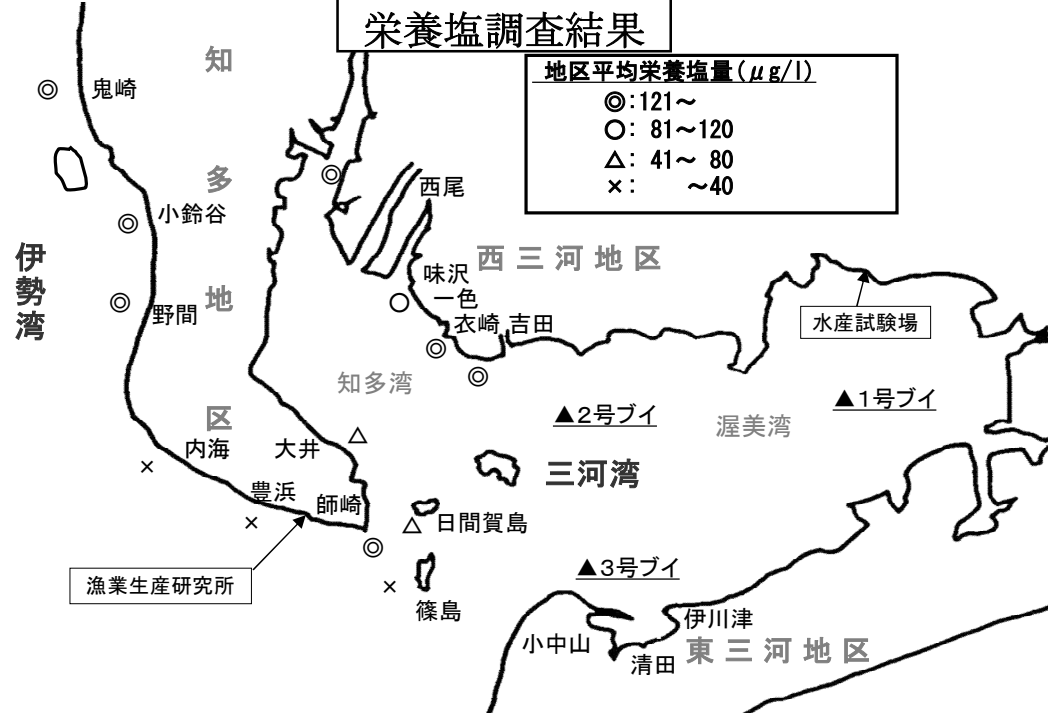
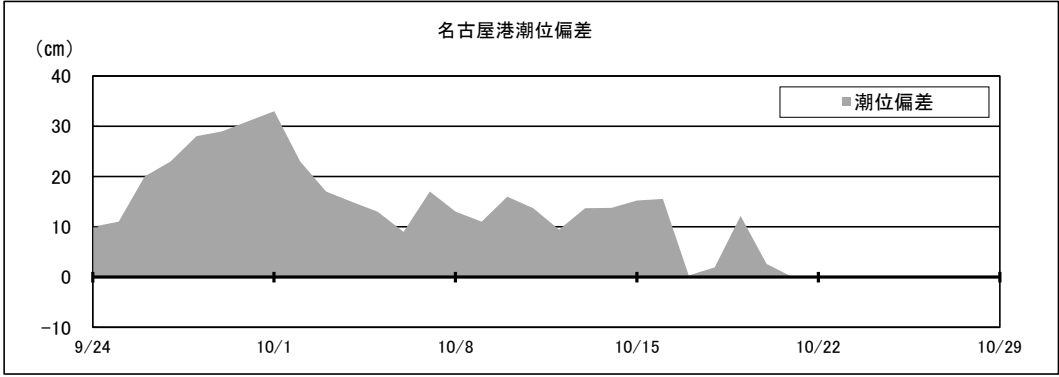
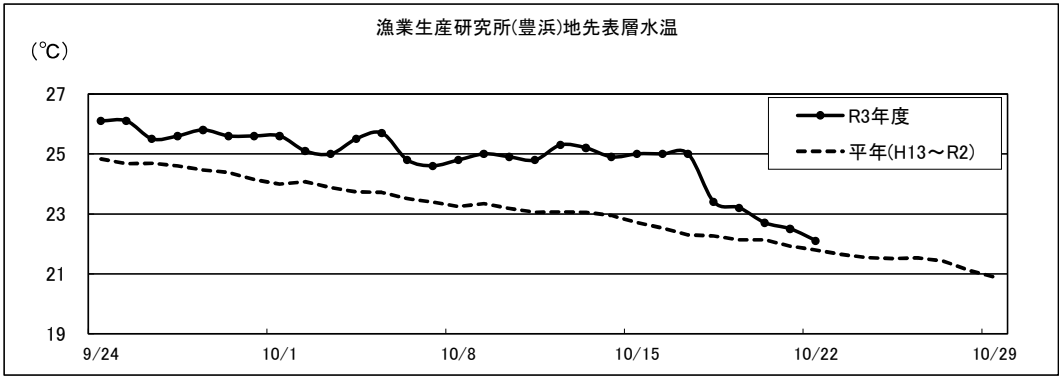
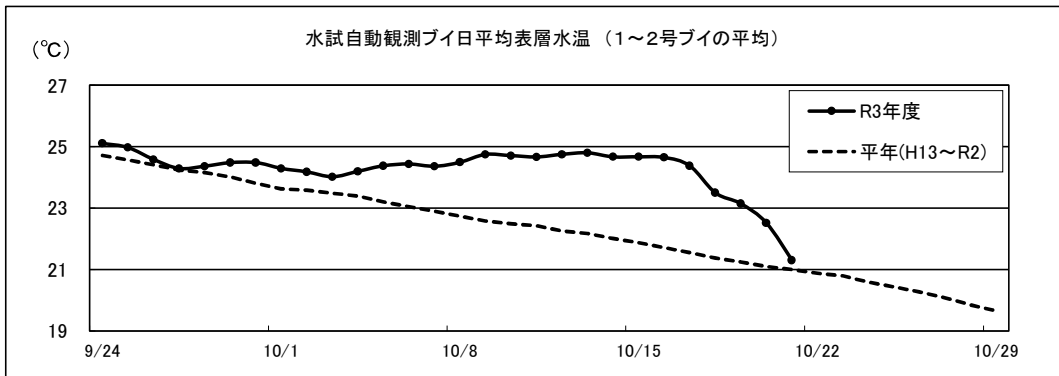
4 今後の管理

- ① 水温やプランクトンの動向に注意し、ノリ芽の状態をよく観察して、適切な網管理を行うこと。
- ② 潮位の変動や気象海況に注意し、適正な干出を行うこと。また、干出は気温が上がる前の早朝に行うこと。
- ③ ノリ芽が目視された網は早期展開を行うこと。また、網洗いを励行して二次芽の付着を促進すること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は10月29日(金)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：10月21日（木）
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会